

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200165
事業所名	グループホームたのしい家鶴里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域の公民会に加入し回覧板や運営推進会議、地域包括の職員などから情報を得ている。地域の防災訓練や盆踊りに参加をしている。事業所主催の納涼祭は小規模と合同で開催し、家族や地域住民を招き交流の場としている。週1回の移動販売車の場所の提供や、事業所で開催するカフェや音楽療法は地域の方や家族と交流できる機会として大切に維持している。こども110当番や地域のコミュニティとしての役割を担っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、公民会長、南区北部いきいき支援センター等の参加を得て併設の小規模多機能事業所と合同で、身体拘束適正化委員会も併せて実施している。会議は事業所の運営状況や入居者の生活の様子、行事報告に加え課題に対する積極的な意見交換の場とし、参加者からの有意義な情報を得られる会議となっている。課題や要望等は記録して職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。議事録は参加者や家族に届けている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 認定申請など必要な業務には市の窓口に向き情報交換をしたり、運営上不明な点は電話やメールなどで確認し、助言や指導を得ている。南区北部いきいき支援センター主催の「2025、みなみシニアクイズラリー」に協力したり、図書館との共同企画には、「認知症とともに自分らしく暮らす利用者」としてパネル展示をしている。今後、文化祭の参加も検討している。市の主催する研修に職員が参加できるよう体制を整えている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いや要望を聴き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時や運営推進会議、行事参加の折に意見や要望を聞き、ケアや運営に反映させている。毎月入居者の日頃の様子や入居者一人ひとりが活躍している様子をブログで配信し、パソコンやスマホの環境の整っている家族には離れていても日々の暮らしが確認できるよう取り組んでいる。意見箱を設置し意見を述べやすい環境を整えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○	◎	○					